

衆議院議員

あなたとつなぐ希望の未来

吉田久美子 NEWS



ひとりの声を大切に

皆さまの声を政治のど真ん中に届けるのが私の仕事です。

チェックしてみてください



「すべての避難所においてスフィア基準をクリアすることを目指す」

決算行政監視委員会（2023.4.24）

吉田質問（抜粋） 平成28年4月14日夜、震度7、そして16日未明に再度より強い揺れが同一地域を襲い、甚大な被害を熊本県益城町中心に及ぼしました。16日の本震後には家に帰れない多数の被災者が生まれ、避難者が18万人に及び、避難生活は困難を極めました。



（スフィア基準では）1人最低3.5平米、およそ畳2枚分は必要。20人に1つのトイレは必置、女性は男性の3倍必要等々、人道、人権の視点から最低基準を示しております。

我が国は災害大国でありながら、我慢が美德との価値観が強く、被災者からは厚かましい、贅沢だと思われたらいけないと声を上げられない。実は、そのしわ寄せは女性に向っております。熊本地震ではエコノミー症候群の入院患者の77%が女性だったという結果も出ております。

私は本気にさえなれば、経験を生かし、望ましい避難所生活の手本を示せる、日本基準といえるようなものを海外に発信することもできると思っておりますし、それこそ災害大国日本の使命の1つではないかと思えます。

熊本地震で経験した、災害死をはるかに超える災害関連死を今後出さないためにも、全国どこでも、いつどんな災害が起こっても、設置される全ての避難所においてスフィア基準をクリアすることを目指していくべきだと思います。

自治体向け「防災・復興ガイドライン」

主なチェック項目

- プライバシーを十分に確保できる間仕切り
- 男女別の更衣室や休養スペース
- 乳幼児のいる家庭用エリア
- キッズスペース
- 仮設トイレは女性用を多めに。男性用と離れさせる
- トイレまでの経路に夜間照明の設置
- バリアフリーに対応した入浴施設
- 避難所運営の役員に女性が3割以上参画
- 生理用品や下着などの備蓄は女性スタッフから配布
- 防犯ブザーなどの配布

※内閣府ガイドラインの「避難所チェックシート」を基に作成

吉田久美子事務所

東京事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2-504
福岡事務所 〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央 6-3-1-202

